

第65回有瀬図書館ギャラリー展

きこうしよ

明治初期教育稀覯書集成



出典：文部科学省ホームページ (<https://www.mext.go.jp/>) を加工して作成

開催期間：2023年6月1日(木)～2023年8月31日(木)

開催場所：神戸学院大学有瀬図書館

本館2階 エントランス展示コーナー

* 開催時間や開催期間は変更になることがあります。図書館HPにて、ご確認のうえご来館ください。

展示の紹介

第65回有瀬図書館ギャラリー展では、「明治初期教育稀覯書集成」と題して、明治期に学校教育で使用されていた「教育入門書(教科書)」を展示しています。普段は閉架資料として閲覧が制限されています。この機会にぜひご覧ください。



連語図解,雄松堂書店,1980 小学指教図,雄松堂書店,1980



小学教師必携補遺,雄松堂書店,1981



師範学校改正小学教授方法,雄松堂書店,1981



師範学校小学試験成規(乾・坤),雄松堂書店,1981

師範学校

1872(明治5)年、アメリカ人教師・スコットを招いて、アメリカの小学教授法を導入した。
1886(明治19)年「師範学校令」が制定され、師範学校は中等学校教員を養成するための「高等師範学校」と、小学校教員の養成のための「尋常師範学校」に分けられた。
第二次世界大戦後、1947(昭和22)年の「学校教育法」により廃止され、国立大学の教員養成を目的とする学部へと引き継がれた。

尋常小学校

満6歳以上の児童に初等普通教育を施した義務制の学校。

1886(明治19)年の「小学校令」において、小学校を「尋常小学校」「高等小学校」の2段階とし、修業年限を各4年と定めた。1890(明治23)年に尋常小学校は6年、高等小学校は2年に改編された。

1941(昭和16)年、小学校は「国民学校」と改称され、尋常小学校は廃止された。



にほんれきし教科書(上・中・下巻),大日本圖書,1894



國語讀本:尋常小學校用(巻5・7・8),富山房,1900

修身教育

修身教育は、小学校・国民学校などで道徳教育を行うために実施された。

1890(明治23)年の「教育勅語」を基とした内容・理念となっていたため、第二次世界大戦後は連合軍総司令部(GHQ)の指令により廃止された。



小學修身訓:高等科(男子用)(巻4),集英堂,1900
小學修身訓尋常科(巻4),集英堂,1900



高等科用皇民修身鑑(巻之7-8),學海指針社編,1893

展示の様子



編集後記

今回のギャラリー展では、明治期に使用された教育指導書を中心に展示しています。

維新が起きた明治時代初期のころ、政府は「富国強兵」をスローガンに掲げ、経済発展と軍事力強化のため、教育制度や内容の近代化を進めました。その結果、明治の終わりには小学校の義務化が実現し、男女平等に教育を受けることができるようになりました。そしてこの明治時代の教育制度が、現在の学校制度の基盤となっています。

明治政府が国民にどのような教育を施そうとしたか、国を豊かにするめに行った教育改革の一端をご覧ください。

参考文献

日本大百科全書(ニッポニカ) 日本国語大辞典 デジタル大辞泉

大学事典 旺文社日本史事典 三訂版版 ブリタニカ国際大百科事典

神戸学院大学図書館展示会通信 MERIDIAN 第65号

2023年6月7日発行

発行・編集：神戸学院大学 有瀬図書館

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518

Tel : 078(974)4584 E-mail: pub-lib@j.kobegakuin.ac.jp

ホームページURL: <http://opac.kobegakuin.ac.jp/>

